

## 【みよし市と木曽町の友好交流の歩み】

### （背 景）

みよし市は、昔から水不足に苦しみ、小河川や百余りのため池からの引き水で干ばつと闘った先人の永い開拓の歴史がありました。こうした水を熱望する農民の願いは、木曽川水系の水資源を高度に利用しようとする「愛知用水」の構想を生み出しました。

昭和 36 年、愛知用水の通水以来、木曽の御嶽山の麓を水源とする「木曽の水」がみよしに絶え間ない流れとなりました。この用水は、農業用水として、さらには上水道や工業用水として活用され、農業近代化の促進や工業発展の基礎となり、今日のみよしを築く大きな力となりました。

木曽の水、愛知用水が取り持つ縁で、昭和 56 年、愛知用水の水源地である長野県木曽郡三岳村とその恩恵を受ける下流のまち三好町との子ども会の交流が行われ、以後三好町との交流が始まりました。昭和 58 年 10 月には、「木曽の清流に感謝し、その水を大切に使う気持ち」を基本とし、両町村の発展と友好的な交流を願い「友好提携」が締結されました。

### （交流の経緯）

昭和 55 年 10 月	三好町長、三好町議会議員が三岳村を表敬訪問
昭和 55 年 11 月	三岳村長が三好町を表敬訪問
昭和 56 年～	子ども会リーダー指導者交歓会開始
昭和 57 年～	婦人会交流開始
昭和 58 年 10 月	長野県木曽郡三岳村と友好提携調印（会場は三好町）
昭和 59 年 7 月	交流の拠点「三好町御岳やまの家」開所
昭和 59 年～	区長会交流開始
昭和 60 年～	議員交流開始
昭和 61 年 3 月	三好池に「夢水潤悠久」の碑建立
平成元年～	三好池まつり開始
平成 3 年 5 月	三好町御岳水源の森取得（7.5ha 村有林）
平成 7 年～	老人クラブ連合会交流開始
平成 10 年 10 月	友好提携 15 周年
平成 12 年 2 月	三好町友好の森取得（30.3ha 国有林） ※現在は、平成 3 年に取得した森と併せて「友好の森」と呼んでいます
平成 13 年	三好町小学生三岳自然体験交流活動事業開始（～15 年）
平成 15 年 9 月	友好の森ふれあいツアー開始
平成 16 年 3 月	「三好町御岳やまの家」閉鎖
平成 17 年 11 月	三岳村が木曽福島町はじめ周辺 4 町村で合併し「木曽町」が誕生（三岳村がなくなったため、友好提携を解消）
平成 23 年 10 月	長野県木曽郡木曽町と友好提携調印